

新店情報

5月は「ららぽーと」へは2店舗目となる富士見店がオープンします！



4月はFC店舗を、関連会社トップブックス社(新潟市西区)を通じて次のとおり出店しました。

- 4月7日「ふるいちトップブックス 長岡花園店」(新潟県長岡市)
- 4月21日「ふるいちトップブックス 小出店」(新潟県魚沼市)

また、直営店舗は次のとおり単月としては過去最多の4店舗を出店しました。

- 4月4日「ふるいち イオンモール豊川店」(愛知県豊川市)
- 4月14日「ふるいち イオンモール高崎市」(群馬県高崎市)
- 4月27日「ふるいち イオンモール羽生店」(埼玉県羽生市)
- 4月27日「ふるいち イオンモール浜松志都呂店」(静岡県浜松市)

5月以降の出店については、直営とFCあわせて次のとおりの出店・改装の予定です。

■ 新規出店

- 5月26日「ふるいち ららぽーと富士見店」(埼玉県富士見市)
- 5月26日「ふるいちトップブックス 大町店」(長野県大町市)
- 6月17日「ふるいちトップブックス 中野店」(長野県中野市)
- 7月8日「ふるいちトップブックス 滑川店」(埼玉県比企郡滑川町)
- 千葉県内イオンモールへ2店舗直営店を出店の予定

■ 改装

- 6月30日「古本市場 松原店」(大阪府松原市)
- 7月「古本市場 豊浜店」(岡山県岡山市)

決算説明会

2023年2月期の決算説明会を開催しました。多数の質問をいただき、その質疑の内容も含めて、ログミーファイナンスサイトへ[資料と発言内容の文字起こしを掲載](#)しました。四半期ごとの決算説明会の開催と直近時価総額の100億円超えも相まって、機関投資家の参加とその後の取材は確実に増加傾向にあります。引き続き地道なIR活動を継続して、企業価値向上に努めます。

テイツーグループSDGs宣言

4月に公表した[テイツーグループSDGs宣言](#)の中で、当社2022年度の実績に基づく、中古品販売による「CO2排出量削減貢献量」を約1.2万トンとしてお示しました。

今後も同宣言のSDGs取組テーマである①「循環型社会実現への貢献」と②「地域社会・経済への貢献」に沿って、本業であるリユース業を中心に、社会に貢献する取り組みを進めてまいります。

4月のグループ中古売上高は前年同月比117%超！

4月のグループ全体の概況は、速報値で前年同月比おおよそ120%の売上高を確保しました。新品では同比約125%と好調に推移しました。商材別では中古ゲーム、中古トレカ、中古ホビー、新品ゲーム、新品トレカ、新品ホビーなどが順調に推移しましたが、商材別の売上高構成で最も高かったのが市場活況な新品トレカでした。

2023年度テイツーグループ成長戦略

2027年2月期の売上高354億円、営業利益20億円の目標は維持しつつ、[2023年度に取り組み成長戦略](#)を公表しました。

直近予定している新たな取り組みとして、トレーディングカード在庫検索機「**T-Search**(ティーサーチ)」(仮称)の直営店舗での試験運用を開始します。顧客の利便性向上、直営店舗の業務効率化、その後の外販を見据えて、鋭意運用方法を確立していきます。



T-Search画面イメージ

その他今期の成長戦略をごく簡単に要約すると次の通りです。

【リユース店舗領域】

- ・商材多様化を進めます
- ・様々な効率化を意図して店舗DX進めます
- ・ふるいち店舗のFC展開に取り組みます

【リユースEC領域】

- ・「ふるいちオンライン」で今期黒字化を達成します
- ・「ふるいちオンライン」への宅配買取機能の実装を計画します

【リユースBtoB領域】

- ・継続してTAYSの拡販を進めます
- ・AIICO II の調達と外部設置を進めます

【その他】

- ・M&Aもやります
- ・海外展開も考えます
- ・人材育成に本気で取り組みます
- ・防犯カメラの実証実験を進めます
- ・SDGs宣言に基づく取り組みを進めます



■ 『よしおくん』の編集後記■

4月14日に決算発表を行い、併せて今期の連結業績予想も公表しました。売上高326.9億円、営業利益16.15億円、経常利益16.2億円、当期純利益10.02億円です。2027年2月期の終わりまでおおよそ4年、売上高354億円、営業利益20億円の目標達成に向けて着実に一つ一つの成長戦略を実行していきます。